

1. 総合計画について

「海津市総合開発計画・後期基本計画」策定について

- ・総合開発計画書は結果も大事であるが、策定プロセスも大事であると考えた。

①職員総参画の計画づくり H22.5 から

定着したプロジェクトチーム方式（事務局は企画政策課）による計画づくり

- 市長の意向を踏まえた、係・課を超えた計画づくり
- プロジェクトメンバーによる当該関係課員の意見の聴取

②住民参画

●アンケート調査

- ・計画要求（どう整備するか）と生活要求（意識）（どのような生活上の問題があるか）を取り違えないことが大事

（例）歩道橋をつくるか、横断歩道をつくるか（＝計画要求）

家の前の道路は車が多く危険を感じるか、感じないか（＝生活意識）

- ・計画要求はその人の置かれた環境状況（テレビでトーク番組を見た、本を読んで知識を得たなど）で常に変化するが、生活意識はその人の置かれている物理的現状を反映しており環境改善等がないかぎり不変

- 世論調査は、その時点での意識を把握するものであり、変化を見るために行っている
- 今回のアンケートは、市民の生活要求（生活意識）の把握に努めた

- ・計画（政策方向）は、情報量の多い行政職員が多様な立場を考えて提案することが基本

- ・市民に計画を提案させるならワークショップ手法で時間をかけて実施することが必要→総合開発計画基本計画のような施策については困難と判断した。

●地域別・分野別（団体別）懇談会の積み上げによる要求把握

- ・参加型総合開発計画の実施

- ワorkshop手法の活用（ファシリテーション・グラフィックスの活用）

- 女性、若者、子どもの意見を取り込む工夫が求められていること

（工夫）まちづくり絵画募集（海津市で実施済）、作文募集

- ・総合開発計画基本構想策定では必要であるが、今回の基本計画策定では専門性・総合性を有するため地域別懇談会は不要と判断した。

- ・分野別意向把握は所管課で対応し計画に反映させる努力を行ってもらった。

●住民参加の総合開発計画審議会の開催

- ・できるだけ多くの階層の意見を結集すること

- 100人委員会、120人委員会などを実施している市町村もある。

- 審議委員の一定割合は公募により選定することが望ましい。

・しかし、海津市では、条例によって決定された審議会がある。

●インターネットの活用

・パブリックコメント制度の実施 H23.7

・神奈川県大和市（ホームページを活用した意見聴取制度）

－ 全国から意見が集まるが、基本計画では一般論として計画する場合はよいが、地域の事情を反映した内容にする必要があり活用が難しい面があるので、海津市民を対象に実施した。

海津市総合開発計画後期基本計画策定経過

期 日	区 分	内 容
平成22年5月25日	第1回総合開発計画プロジェクト委員会	海津市総合開発計画後期基本計画及び今後の予定について説明
平成22年6月30日	第2回総合開発計画プロジェクト委員会	市民意識調査票原案について及び現状と課題シートの検討
平成22年7月1日	第1回海津市総合開発計画策定委員会幹事会	市民意識調査票原案について検討
平成22年7月8日	第1回海津市総合開発計画策定委員会	〃
平成22年7月21日	市議会全員協議会	市民意識調査票原案の報告
平成22年7月27日	第3回総合開発計画プロジェクト委員会	「現状と課題」シートの検討
平成22年8月	市民意識調査	海津市総合開発計画後期基本計画づくりのためのアンケート調査
平成22年8月31日	第4回総合開発計画プロジェクト委員会	「現状と課題」シートの検討
平成22年9月27日	第5回総合開発計画プロジェクト委員会	「現状と課題」シートの検討
平成22年10月26日	第6回総合開発計画プロジェクト委員会	「現状と課題」シートの検討
平成22年11月22日	第7回総合開発計画プロジェクト委員会	「現状と課題」シートの検討及び市民意識調査の報告
平成22年12月14日	第8回総合開発計画プロジェクト委員会	「戦略プロジェクト」の骨子検討
平成23年1月4日	第2回海津市総合開発計画策定委員会幹事会	市民意識調査結果の報告
平成23年1月19日	第2回海津市総合開発計画策定委員会	市民意識調査結果の報告
平成23年1月21日	市議会全員協議会	市民意識調査結果の報告
平成23年1月25日	各課ヒアリング	「施策の内容」及び「施策の成果指標」の作成、検討
平成23年1月28日	市長ヒアリング	後期基本計画の策定状況、戦略プロジェクト等についての報告と検討
平成23年2月4日	各課ヒアリング	「施策の内容」及び「施策の成果指標」の作成、検討

平成23年2月14日	各課ヒアリング	「施策の内容」及び「施策の成果指標」の作成、検討
平成23年2月15日	各課ヒアリング	「施策の内容」及び「施策の成果指標」の作成、検討
平成23年2月16日	各課ヒアリング	「施策の内容」及び「施策の成果指標」の作成、検討
平成23年2月18日	各課ヒアリング	「施策の内容」及び「施策の成果指標」の作成、検討
平成23年3月29日	第1回総合開発計画審議会	海津市総合開発計画後期基本計画の策定経過及び今後の予定について説明
平成23年4月20日	部局長会議	海津市総合開発計画後期基本計画の策定経過報告及び計画素案の提出
平成23年4月26日	第1回総合開発計画プロジェクト委員会	海津市総合開発計画後期基本計画素案の修正
平成23年5月31日	第2回総合開発計画プロジェクト委員会	「戦略プロジェクト」の具体案協議
平成23年6月1日	第1回海津市総合開発計画策定委員会幹事会	海津市総合開発計画後期基本計画(案)の検討
平成23年6月15日	第1回海津市総合開発計画策定委員会	海津市総合開発計画後期基本計画(案)の検討
平成23年6月30日	第1回総合開発計画審議会	海津市総合開発計画後期基本計画(案)の諮問 海津市総合開発計画後期基本計画(案)の審議
平成23年7月1日～ 平成23年8月1日	パブリックコメント(市民意見提出手続制度)	2人の方から5件の意見
平成23年8月2日	第2回総合開発計画審議会	海津市総合開発計画後期基本計画(案)の審議
平成23年8月24日	第3回総合開発計画審議会	海津市総合開発計画後期基本計画(案)の答申

2. 人口減少時代を考える

- ・経済成長は、機械化に大きなウエイトがありますが、機械を操作するのは人間であり、それは労働生産性と労働人口によって決まります。(労働生産性は、省力化の技術水準と機械の性能で決まるため、先進国では差がないと考えられます。)
- ・したがって、今後の経済発展は、労働人口によって決まります。
- ・日本の生産年齢人口は、1995年を境にマイナスに転じており、今後も大幅に減り続けることとなります。今後その回復は見込めないため、日本の経済成長は先進国で最も低くなる可能性があります。経済成長は、恒常的にマイナスとなるということです。

3. 個性豊かなまちづくりと戦略プロジェクト

- ①交流時代の地域戦略…人と人との出逢いを演出する、条件を整える
 - ・人口減少時代→人が集まることがポイント
- ②市民のふるさと意識の醸成…随所の時代、汗も流すが金も出す

- ③都市間競争を勝ち抜く…定住人口を高めるためには、知名度を高めること
- ④情報化時代の地域戦略…情報は発信するところに情報が集まり、金が集まる
- ⑤経済低成長下での地域活性化戦略

愛知県下の主な市町村の個性化戦略（2010.4 調査）

- (1)名古屋市 デザイン都市の創造（デザイン博、国際的なデザインセンター、デザインウィーク、都市景観、国際パブリックデザインフェア）、環境都市（ごみ分別体制）
- (2)旧一宮市 水と緑とファッションのまちづくり（大江川緑道、木曾川河川公園、繊維まつり、七夕まつり）
- (3)瀬戸市 やきものをいかしたまちづくり（窯垣の小径事業、瀬戸川文化プロムナード、新世紀工芸館、瀬戸蔵博物館、世界陶芸の森構想）
- (4)半田市 ときめきシンフォニー都市（新美南吉記念館【ごんぎつねの里・彼岸花堤防】、南吉街角アート、山車祭り、運河と蔵と酢のまち、赤レンガ倉庫）
- (5)春日井市 書道のまち（小野道風記念館、世界カエルフェスティバル、道風平安朝行列）
- (6)津島市 歴史のいきづくまち（津島神社、ふじまつり、津島街道町並み保全）
- (7)犬山市 古城をこころでつなぐまちづくり（山車のモニュメント、城下町の整備）
- (8)常滑市 土と炎と潮の香りただよう国際空港都市（陶都ピア21やきもの散歩道・やきもの里、陶芸センター、陶刻広場）
- (9)江南市 水と緑まち（蔓陀羅寺のふじ）
- (10)小牧市 歴史文化都市（都市デザイン、小牧山保全修復）
- (11)稲沢市 緑と文化のまちづくり（国府宮はだかまつり・祭り会館、植木の里、歴史の森、荻須美術館）
- (12)東海市 「鉄」と「ラン」のまちづくり（鉄の橋、農業祭、ランまつり）
- (13)大府市 健康都市（あいち健康の森、健康マラソン、風車モニュメント）
- (14)知多市 緑園都市（ふれあいの森、旭公園、預託記念植樹）
- (15)尾張旭市 緑と太陽のまち（文化コミュニティの丘、森林公園）
- (16)岩倉市 水辺からのまちづくり（五条川の親水計画・桜並木、「水辺の会」による鯉の放流・水遊び）
- (17)豊明市 自然と歴史をいかすまち（警固まつりの復活、三崎水辺公園）
- (18)清須市 歴史観光のまち（清洲城城下町の再生、清洲ふるさとの館、美濃街道沿道整備、五条川桜並木）
- (19-1)あま市七宝町 七宝焼のまち（七宝焼の街路灯設置）
- (19-2)あま市美和町 戦国武将のふる里づくり（戦国合戦まつり、商工会戦国武将の会）
- (20)蟹江町 水郷のさと（佐屋川水郷公園、蟹江川をきれいにする会）
- (21)弥富市 金魚と鯉のまちづくり（金魚の館、金魚のモニュメント）
- (22)阿久比町 日本一の菊づくり運動（みんなの菊花展）、ふれあいの森、ホテルの飼育
- (23)岡崎市 歴史と文化の公園づくり（岡崎城大手門の復元、堀の親水化、岡崎城址公園）
- (24)碧南市 彫刻のあるまちづくり（市内彫刻設置）、伊藤証信・哲学たいけん村

- (25) 高浜市 やきものの里づくり（神ノ木ふれあい遊歩道、陶芸会館、鬼瓦の里）
- (26) 知立市 歴史のまち（東海道知利附の宿、八橋のかきつばた公園）
- (27) 安城市 日本デンマーク構想（都市デザイン、デンパーク、日本三大七夕祭り）
- (28-1) 旧豊田市 産業・文化・交流のまち（とよた国際村、都心整備）
- (28-2) 豊田市足助町 歴史と自然が織りなす文化村（三州足助屋敷、足助城、百年草）
- (28-3) 豊田市小原 和紙のふるさと（小原和紙工房、和紙作品コンクール、和紙博）
- (29) 西尾市 抹茶と瓦とバラ色のまちづくり（ばら花壇、西尾城に復元、文化プロムナード、公民館の茶室づくり、抹茶の時間、三州瓦の市営住宅・幼稚園）
- (30) 一色町 4つの日本一のまちづくり（エビせんべい、カーネーション、鰻、大提灯）
- (31) 吉良町 “きら” 景観づくり（吉良上野介、吉良の仁吉の人生劇場）
- (32) 蒲郡市 癒しとおもてなしのまち（ヨットハーバー、ラグナックスアイランド、愛知最大の温泉街）
- (33) 田原市 自然エネルギーと花のまちづくり（菜の花プロジェクト、街角花壇、風車）